議題１　国際交流推進事業について

【令和６年度　主な事業報告】

１　第８回日仏自治体交流会議及びトゥール市副市長の来高

別紙１（３Ｐ）参照

２　台湾・基隆市　市長とのオンライントップ会談

別紙２（５Ｐ）参照

３　ＳＮＳ等を活用した姉妹・友好都市等との交流の周知

これまで、ホームページとフェイスブックが主体であった広報手段について、インスタグラムやＸ（旧ツイッター）にも媒体を拡充し、幅広い年齢層や外国人への効果的な発信を行った。

インスタグラム

X

４　多文化共生の推進に係る新たな取組

新しい在留資格の創設等により今後も増加が見込まれる在住外国人にとって、住みやすい環境づくりを推進するに当たり、外国人住民が抱える困りごと等を把握するため、香川県が実施した「外国人住民会合」に参加し、直接的な意見を聞き取った。「外国人対応に係る庁内連絡会議」等の機会を活用して庁内関係課に情報共有するなど、今後の多文化共生施策に生かしていきたい。

別紙１

第８回日仏自治体交流会議及び トゥール市副市長の来高

１　第８回日仏自治体交流会議

日仏自治体交流会議とは、両国の地方自治の発展に寄与することを目的として日仏の自治体関係者が一堂に会し、行政課題や先進施策等について発表・議論するもので、２００８年に、第１回会議が開催されて以来、２年ごとに両国の都市で交互に開催されている。

（１）日時
２０２４年１１月１８日（月）～１１月２１日（木）

（２）開催地
静岡県 静岡市

（３）内容
○テーマ
「日仏自治体のパートナーシップが世界にもたらす新しい価値」
・全体会
・分科会
第１分科会：経済「成熟社会における都市の価値と持続可能な経営」
（※高松市が参加し、「瀬戸内国際芸術祭」について事例発表）
第２分科会：社会「全ての人の参画と連帯」（※トゥール市が参加）
第３分科会：環境「脱炭素社会の実現と魅力ある地域づくり」

（４）参加者
・姉妹都市等の関係にある日仏自治体の代表及び関係者（日本側35自治体、仏側19自治体）
※高松市からは中林副市長ほか2名が参加
※トゥール市からはエリーズ　ペレラ・ニュネス副市長ほか1名が参加
・日仏両国政府関係者等

（５）過去の開催状況
・第1回会議（2008年ナンシー市）：日本側12自治体、仏側17自治体
・第2回会議（2010年金沢市）：日本側26自治体、仏側18自治体
・第3回会議（2012年シャルトル市）：日本側15自治体、仏側27自治体
・第4回会議（2014年高松市）：日本側28自治体、仏側17自治体
・第5回会議（2016年トゥール市）：日本側19自治体、仏側22自治体
・第6回会議（2018年熊本市）：日本側35自治体、仏側17自治体
・第7回会議（2022年エクサンプロヴァンス市）：日本側14自治体、仏側22自治体　※本市欠席

第８回日仏自治体交流会議の様子

2　トゥール市関係者の来高

第８回日仏自治体交流会議に参加するため日本を訪れていた、本市姉妹都市トゥール市の副市長等が高松市を訪れ、市長への表敬訪問や市内視察を行ったほか、香川日仏協会が主催するボジョレーヌーボーの会等に参加し、多くの市民と交流を行った。

（１）日時

２０２４年１１月２１日（木）～１１月２３日（土・祝）

（２）来訪者

トゥール市副市長　エリーズ　ペレラ・ニュネス　氏

トゥール市国際交流プロジェクトマネージャー　オロール　マレ　氏

（３）訪問日程

１１月２１日（木）　歓迎夕食会

１１月２２日（金）　高松市こども未来館　視察

（男女共同参画センター、平和記念館ほか）

（公財）高松市国際交流協会　訪問

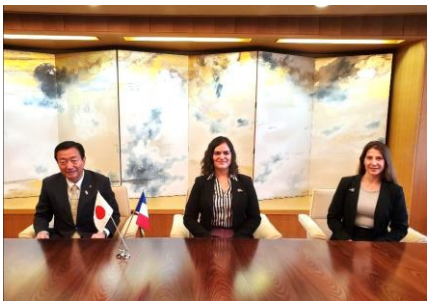
栗林公園　視察

歓迎夕食会

１１月２３日（土・祝）高松市美術館、高松中央商店街　視察

ボジョレーヌーボーの会　参加

市長表敬訪問



男女共同参画センター

高松市国際交流協会訪問

栗林公園

高松市美術館

ボジョレーヌーボーの会

高松中央商店街

別紙２

台湾・基隆市　市長とのオンライントップ会談

1　会談までの経緯

令和４年 12 月に、謝國樑（シャ　コクリョウ）現市長が就任して以来、市長同士の対面・会談等が行えていないことに加え、両市の間でも小学生同士によるオンライン交流以外の交流事業が実施できていないことから、市長同士の直接会談を実施し、今後の両市の交流促進等について、意見交換を行うこととした。

2　会談実施日時

令和６年１２月２３日（月）

3　会談内容

基隆市前市長時代のものも含め、これまでの両市の交流を振り返るとともに、今後の交流について意見交換を行った。

高松市長から、今後の交流拡大につなげるため、令和７年に開催される「瀬戸内国際芸術祭２０２５」に、基隆市長を始め、基隆市関係者や学生等を招待したいとの意向をお伝えすると、基隆市長も、近いうちの高松訪問や両市の交流活動の拡大に意欲を示した。また基隆市長は、高松市長の基隆市への来訪にも期待を寄せていた。

両市長ともに、今後の友好関係の強化や交流拡大を視野に、交流事業を実施していきたいという意思を共有し、会談を終えた。

会談の様子

【令和７年度　事業計画】

1　姉妹・友好都市等との主な交流事業

（１） セント・ピーターズバーグ市との交流について

ア　高松第一高等学校への英語教師の招へい

エッカード大学からの第５３回姉妹都市招へい英語教師であるコリン・クック氏の任期は、令和６年９月２４日から令和７年７月３１日までとなっている。

これ以降も、本招へい事業は継続実施を予定しており、生徒の英語能力の向上や市民との交流による両市の友好親善につなげる。

イ　高校生親善研修生の受入れ（第３７回）

セント・ピーターズバーグ市から親善研修生３人を受け入れ、ホームステイ等を通して、両市の友好親善を深める。

期　間：令和７年７月（予定）

ウ　高校生親善研修生の派遣（第１４回）【（公財）高松市国際交流協会事業】

本市からセント・ピーターズバーグ市へ親善研修生３人を派遣し、ホームステイ等を通して、両市の友好親善を深める。

期　間：令和７年７月（予定）

（２） トゥール市との交流について

ア　親善研修生の受入れ（第３回）

トゥール市から親善研修生２人を受け入れ、ホームステイ等を通して、両市の友好親善を深める。

期　間：令和７年１１月（予定）

イ　親善研修生の派遣（第１０回）【（公財）高松市国際交流協会事業】

本市からの親善研修生２人を派遣し、ホームステイ等を通して、両市の友好親善を深める。

期　間：令和７年９月（予定）

（３） 南昌市との交流について

ア 南昌市中学生訪問団の受入れ（第１６回）

南昌市から中学生１０人程度を受け入れ、ホームステイ等を通して、両市の友好親善を深める。

期　間：令和７年８月（予定）

イ 中学生親善訪問団の派遣（第２８回）【（公財）高松市国際交流協会事業】

本市から南昌市へ中学生親善訪問団（８人程度）を派遣し、ホームステイ等を通して、両市の友好親善を深める。

期　間：令和８年３月（予定）

ウ 青少年訪問団の派遣

南昌市からの招待を受け、本市の青少年訪問団（高校生、大学生等）を南昌市に派遣し、現地での体験等を通じて若者同士の交流を深める。

期　間：令和７年８月（予定）

エ　高松・南昌友好会館日本語講師派遣事業への協力【高松市日中友好協会事業】

高松市日中友好協会が、南昌市の高松・南昌友好会館で開催している日本語講座にボランティア講師を派遣しており、本市は講師募集の周知や派遣手続等について協力する。

オ 高松市・南昌市友好都市提携３５周年記念事業

本市と南昌市が１９９０年に友好都市提携を締結してから、令和７年に３５周年を迎えることを記念し、各種記念事業を実施する。

【高松市事業】

・記念式典の開催

実施時期：令和７年７月（予定）

内容：両市のこれまでの交流の歴史を振り返るとともに、今後の友好親善を発展させることを目的として、記念式典を開催し、記念品の交換や記念動画の上映等を行う。

・高松市公式訪問団の派遣

実施時期：令和７年１１月（予定）

内容：友好都市提携３５周年を共に祝い、両市の親善交流を促進するため、南昌市へ公式訪問団を派遣する。

・南昌市公式訪問団の受入れ

実施時期：令和７年７月（予定）

内容：南昌市代表団を本市へ招待し、記念式典への出席や、市長表敬、市内視察等を行う。

【（公財）高松市国際交流協会事業】

・市民親善訪問団の派遣

実施時期：令和７年１１月（予定）

内容：一般公募により、広く参加者を募集して、市民親善訪問団を組織し、本市公式訪問団の派遣に合わせて南昌市に派遣し、記念の年を共に祝う。

（４）基隆市との交流について

ア 小学生同士のオンライン交流

令和６年度に引き続き、高松市の東植田小学校及び植田小学校の児童が、基隆市の復興国民小学校及び暖江國民小学校の児童と英語を使ってオンライン交流を実施する予定。

開催期間：年度内に数回程度

イ 基隆市公式訪問団招待

令和６年１２月２３日に行った、高松市と基隆市、両市長のオンライン会談の成果として、基隆市長等を瀬戸内国際芸術祭 2025 へ招待する。

日　時：瀬戸内国際芸術祭２０２５　開催期間中

（夏会期又は秋会期を想定）

2　多文化共生のまちづくり

（１） 英語・中国語に専門性を有する会計年度任用職員の配置等

英語・中国語に専門性を有する会計年度任用職員を都市交流室に配置し、姉妹・友好都市を始め、海外諸都市との円滑な連絡・調整や、来庁する外国人住民等の通訳支援を行うとともに、各課からの依頼による行政情報等の翻訳支援を行う。

また、引き続き、出入国在留管理庁が実施している通訳支援事業を活用し、窓口において、電話での通訳対応を行う。

（２） 広報紙や展示、ＳＮＳ等を活用した姉妹・友好都市等との交流の周知

広報紙やホームページ、ＳＮＳなど各種広報媒体やパネル展示等を活用し、姉妹・友好都市等を紹介するとともに、国際交流に関するイベント、活動報告などを広く市民に周知することにより、国際交流の理解を深め、市民レベルでの交流促進を図る。

また、市内の小学生を対象に、姉妹・友好都市の学習時の補助教材として、姉妹・友好都市パンフレットを電子データにて配布する。

（３）「外国人対応に係る庁内連絡会議」の開催

庁内連絡会議を開催し、関係部署と外国人住民対応に関する情報共有を行うとともに、外国人対応を円滑に行うための方策等について意見交換を行い、在住外国人にとって住みやすい環境づくりを推進する。

3　その他の国際化推進事業

（１） かがわ国際フェスタ２０２５

国際交流・国際協力に携わる県内の団体相互の連携強化や、市民の国際交流活動・国際協力活動への参加・理解を促進するとともに、日本人住民と外国人住民との相互の理解・交流を深めることを目的に「かがわ国際フェスタ２０２５」を開催予定。

（２） エルバートン市との交流活動の支援

高校生相互派遣事業等を実施している牟礼エルバートン親善委員会に対し、支援を行う。

（３）民間活動等の促進

民間国際交流団体等の活動を支援するとともに、連携して事業を行うなど、民間団体等が行う、国際交流の取組みを促進する。

（４）市政出前ふれあいトーク

市民からの申込みに応じ、「国際交流（姉妹都市の魅力についてなど）」をテーマに市政出前ふれあいトークを実施する。

（５）市長表敬の受入れ

国際交流等に関係する市長表敬訪問の受入れを行う。